

火 気 使 用 願

事業所の名称 _____

一次会社名 _____

所 長 名 _____ 殿

使用会社名
(次) _____現場代理人
(現場責任者) _____ ⑩

下記の要領で火気を使用したく許可願います。なお、火気使用の終了時には、必ずその旨報告致します。

使 用 場 所			
使 用 目 的	溶接、溶断、圧接、防水、乾燥、採暖、湯沸、炊事、その他（ _____ ）	使 用 期 間 使用時間（原則）	月 日 ～ 月 日 時 分 ～ 時 分
火 気 の 種 類	電気、ガス、灯油、重油、木炭、薪、その他（ _____ ）		
管 理 方 法	消 火 器 、 防 火 用 水 、 消 化 砂 、 防 炎 シ ー ト 、 受 皿 、 標 識 、 監 視 、 取扱上の注意（ _____ ）		
火 元 責 任 者 (後始末巡回者)			
火 気 使 用 責 任 者			

※使用目的、火気の種類、管理方法は該当事項を○で囲んで下さい。

許 可 第 号	(許可年月日) _____ 年 _____ 月 _____ 日
火 気 使 用 許 可	防 火 管 理 者 _____ ⑩
	担 当 係 員 _____ ⑩
許 可 条 件	

※毎日時間で管理する場合は、この様式を参考にして書式を作成して下さい。

元請 確認欄	
-----------	--

28年7月10日

「火気使用願」の目的
建設現場で火気を使用する際に元方事業者の許可を受けるために、実際に火気を使用する協力が会社が、火気の使用場所、使用目的、火気の種類、管理方法等を記載した「火気使用願」により申請する。

火 気 使 用 願

作業員を雇用する会社が作成し、1次の会社を通して元請に提出する。

事業所の名称 かしまビル作業所
 所長名 鈴木 一郎 殿

一次会社名 〇〇 建設 (株)
 使用会社名 (2次) (株) △ △ 工務店
 現場代理人 (現場責任者) 坂口 健太郎 (印)

事業所の名称は作業所名を書き、所長名は間違いないように。

下記の要領で火気を使用したく許可願います。なお、火気使用の終了時には、必ずその旨報告致します。

使用場所	<u>屋上の手摺取り付け</u>		
使用目的	<u>溶接</u> 、 <u>溶断</u> 、圧接、防水、乾燥、採暖、湯沸、	使用期間	<u>7月12日</u> ~ <u>8月31日</u>
	炊事、その他 ()	使用時間 (原則)	<u>8時30分</u> ~ <u>17時00分</u>
火気の種類	<u>電気</u> 、 <u>ガス</u> 、灯油、重油、木炭、薪、その他 ()		
管理方法	<u>消火器</u> 、防火用水、消化砂、防災シート、 <u>受皿</u> 、標識、 <u>監視</u> 、 取扱上の注意 ()		
火元責任者 (後始末巡回者)	<u>小松 一三</u>	← 使用会社記入欄	
火気使用責任者	<u>中山 正</u>		

※使用目的、火気の種類、管理方法は該当事項を○で囲んで下さい。

元請記入欄
業者記入不要

許可第 <u>5</u> 号	(許可年月日) <u>28</u> 年 <u>7</u> 月 <u>11</u> 日
火気使用許可	防火管理者 <u>山本 太郎</u> (印)
	担当係員 <u>本田 圭介</u> (印)
許可条件	1. 火花及び切断屑は必ず受皿で受けること。 2. 作業場所には粉末消火器を配置すること。 3. 作業終了後は火がないことを確認すること。

元請会社記載欄

押印の上、写しを申請会社に渡し、指示内容の確認をすること。

※毎日時間で管理する場合は、この様式を参考にして書式を作成して下さい。